



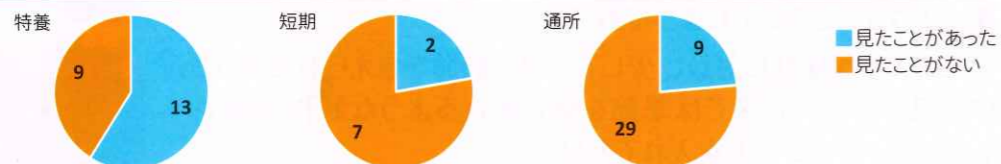
## 高齢者施設だより

2022年に利用者様及びご家族様に向けて、アンケートを実施いたしました。その中の一部ではありますが、抜粋してご紹介いたします。貴重なご意見をいただきましたので、より良い施設運営に活かすべく努めています。

### 生活相談員

回答者：特養、短期入所、通所介護のご家族様

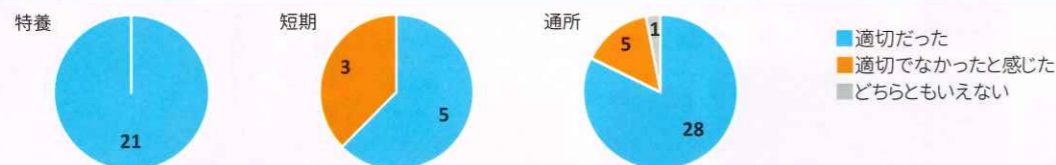
1 2022年6月末までに、えびな南高齢者施設のホームページを見たことはありましたか？



2 2022年7月に施設から「新型コロナウイルス感染症発生について」の連絡を受けましたか？それはどのような方法でしたか？該当するものすべてをお答えください（複数回答可）



3 2にある連絡時に、その内容や連絡時期は適切でしたか？



4 3で「適切でなかったと感じた」方にお聞きします。それはどんなところで感じましたか？

- \* 内容が足りない (短期、通所 各2名)
- \* タイミングが遅い (通所)
- \* 文書よりも一言電話が欲しい (通所)

5 4の連絡を受けてから、えびな南高齢者施設のホームページを見る頻度は7月以前と比べて変わりましたか？



#### ★アンケート結果を受けて

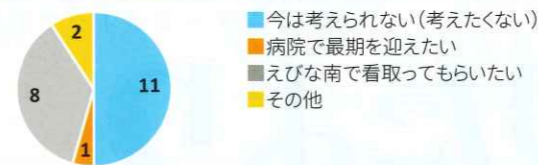
えびな南高齢者施設のホームページの閲覧経験は全体として30%強で、短期入所、通所のご家族では20%強の割合に留まりました。しかし質問5においては、2022年7月の新型コロナウイルス感染症のクラスター発生を通して、若干名でも情報入手の方法として「ホームページ」が認識されたことを嬉しく思います。

今回のクラスター発生から今日に至る間にも、数名の感染者が発生しています。その都度関係する方にはお電話等でお知らせをすることもホームページにも可能な限り最大限の情報掲載しております。皆様がホームページを活用できるように十分な周知・アピールをしていくことが必要だと思われました。

### 健康管理課：看護職

回答者：特別養護老人ホーム利用者のご家族様

1 “最期”の時をどのようにイメージされていますか？



2 ご家族はどのようなことを職員に望みますか？ご家族がやりたいと思うことはありますか？

- \* 職員の方にはいつも通っていていただきたいです。家族はできるだけ傍にいたいと思っています。
- \* 今もお世話になりこれ以上のことは望みません。感謝の言葉で一杯です。
- \* 遠方に住んでいるのでその時に立ち会えないと思う。本人にとって一番良いと思われることを行っていただけると嬉しいです。
- \* 本人が望むことをお願いしたいです。なるべくそれに応えられるように家族も対応したいと思います。

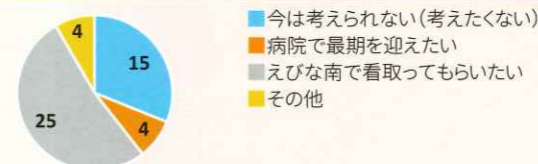
#### ★アンケート結果を受けて

①「今はこれについて考えられない」という回答を除くと、えびな南で最期を迎えたいという方が7割以上でした。皆さんの期待に応えるケアをしていきたいと思います。  
 ②ご家族様の希望として、一緒に「看取り」を行いたいという方も多くいらっしゃいました。コロナ禍で普段の面会は思うようにならないのが現状ですが、看取り期の方にはご家族様にN95マスクを着用していただき入館してもらっています。これからも私たちはご家族様と一緒に看取りケアを行いたいと思っています。

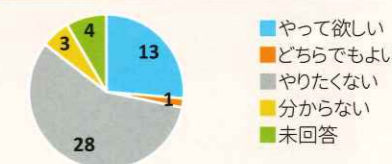
### 養護課

回答者：養護老人ホームのご利用者

1 “最期”の時をどのようにイメージされていますか？



3 施設でのお別れ会(葬儀)を希望しますか？



【自由記述欄】  
 \* 「花(小春のうららの隅田川...)」を皆で合唱してほしい  
 \* 最後はビールを飲みたい(夫と一緒に晩酌をしていた) ...等

2 1で「えびな南高齢者施設での看取り」と回答の方へ

どのような最期を迎えられたら良いと思いますか？

- \* 自分らしくしたい
- \* その時になってみないとわからない
- \* クラシックとか音楽をかけてほしい
- \* 家族に会いたい
- \* そっとしておいてほしい
- \* (自分の部屋で) 眠るように亡くなりたいたい ...等

#### ★アンケート結果を受けて

これまで「最期」についてお話することがあまりなかったこともあり、「最期」についてのイメージが全く浮かばないご利用者様が多いことがわかりました。職員とも話をする機会がなく、ご利用者様が考える為の資料や情報が不足していると考えられます。今後は最期についてどのような形があるのかイメージできる資料や情報を提供できるよう、職員の勉強会を実施していきます。また、各ご利用者様の担当職員が個別に聞き取りを行い、ご利用者様が希望する最期を迎えられるように、職員が一丸となって支援をいたします。

## 赤い羽根共同募金活動



前号で赤い羽根共同募金活動の紹介をいたしました。このたび私達の募金活動に対して「社会福祉法人中央共同募金会」から表彰状をいただきました！

私達表彰されました！

ご利用者様の喜びもひとしお、これからも邁進してまいります！

\*\*\*\* ご意見・ご要望について 2022年10月～12月 皆様からご意見・ご要望はありませんでした。\*\*\*\*

### ご支援 ご協力 感謝申し上げます (敬称略) (順不同)

ご寄付 2022年10月～12月

- 〈お金の部〉 大矢 佐知子  
南部地区民生委員児童委員協議会 会長 金子 幸枝
- 〈物品の部〉 堀込 順子・小菅 美江子・浜田 美津江・岡崎 利行  
村山 正子  
㈱神奈川農協茶業センター 代表取締役 天野 信一

### 編集後記

タイトルだけは何となく知っていた「アルジャーノンに花束を」を読みました。青年チャーリーと白ネズミの話なのですが、タイトルに繋がる最後の一文が素晴らしいので未読の方は是非どうぞ。

(松下)